

## 補助金評価シート

区分	重点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">重点以外</span>	補助根拠	法令補助 ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">その他補助</span>	開始時期	平成29年4月1日	終期	平成32年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		(公財)新潟市芸術文化振興財団運営費補助金 本財団事務局の管理的運営費のうち、事務局長ほか3名の人件費を対象に補助を行う。					
款・項・目		総務費・総務管理費・文化振興費					
所属等		文化スポーツ部 文化政策課 管理チーム 電話32560					

年 度		平成29年度(1年目)	平成30年度(2年目)	令和元年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	25,225	24,599	24,699
	決算(千円)	25,225	24,599	24,699
補 助 率		100.0%	100.0%	100.0%
目 標		市民の芸術文化の振興を図り、自主的、自発的な市民文化の創造に寄与する。 <目標が数値でない場合の評価方法> 市民の芸術文化の創造活動を支援、助成し、本市の発展に寄与しているかの総合評価。		
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として、主催・共催事業や助成金交付事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援しており、当市の文化振興に大いに寄与したといえる。	新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として、主催・共催事業や助成金交付事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援しており、当市の文化振興に大いに寄与したといえる。	新潟市の文化的な基盤の充実、各分野の文化活動の活性化を目的として、主催・共催事業や助成金交付事業を実施し、市民の自主的な文化活動を支援しており、当市の文化振興に大いに寄与したといえる。
補助事業者による情報の公表		(公財)新潟市芸術文化振興財団ホームページ		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	○
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	×	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組>b:本財団の事業は、本市における芸術文化の発展に大きく貢献しており、継続的運営に必要な人員を確保する必要があるため、1/2以上の補助はやむを得ないと考える。d:次年度当初における運営費・事業費の財源がないため、一定の繰越金はやむを得ないと考える。 <g～hにおける取組> g:文化活動の振興については、その性質上入場者数や収益のみでは測れない側面があり、目標を数値化することは困難であると考え。			
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
	① 拡充・改善 ( 補助率, 補助額, 補助対象経費, その他 )      ② 継続      ③ 廃止 ①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 市民の自主的な文化活動を支援することで、当市の文化振興に大いに寄与しており、継続するべきであると考え。				